



新撰

香川習字帖

松石書

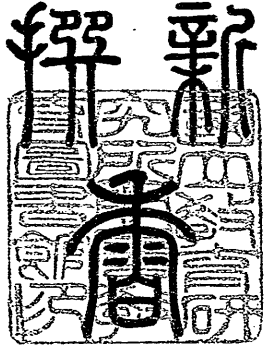
上

K220.72
27a
1

K220.72

27a

1



川習亭帖

緒言

一 本書は中學校教授要目に據り各一冊を一學年の課程に充つる目的にて編纂せしものなるを以て第一卷第二卷には楷行二體を第三卷には行草二體を用ひたり

一 中學校に於て一學年間に四十週の教授をなすとせば三學年間の習字科教授時敷は僅々百二十時間に過ぎず此の如き僅少の時間を以てあらゆる文字の書き方を知らしめんには先運筆間架結構の要訣を會得せしめ一字を授けて能く數十字を類推せしむるの法によらざるべからず

一 本書はこの主義に基き楷行二體にありては日用近易の畫點字中文結字の基本となるべきものを撰び且之を應用したる成語成句を掲ぐ而して大字は之を以て手腕の暢達を圖り細字は之を以て直接に實用の資に供するを以て目的とす

草書の用は多く日用往復の文書にあるを以て一半は書簡用語を集め一半は其輕妙なる運筆と溫雅なる配列とを練習せしむるため數章の書牘文と數首の和歌とを掲げたり

上卷及中卷中の大字に關聯せる熟語細字を掲げたるは大字練習の際用紙の餘白に附書練習せしめんとするにあり

一 本書編纂の趣旨叙上の如しと雖其教授方法の仔細に至りては教授者各卓見の存するあり敢て編者の贅言を要せず唯生徒をして我恩師香川松石翁玄妙の筆意を了解せしむることを得ばその榮これに過ぐるものなし

主立卒

六京商

千
半
年

米
東
東

文友之

水求永

丁子事

乙九乳

入内全

元先光

公兵其

同再冊

仁使儀

冬冷涼

利判功動

印卯原厚

四國多夜

天奉好婚

利益判決功勞運動
印刷癸卯原野厚情

四海國權多少晝夜
天地奉公好惡婚姻

孝學安家

寺射居局

席庭延建

引張彤影

孝行學問安危家屋
寺院射的居常結局

出席庭園延期建設
引力帳簿形式陰影

彼得心忠

成戰政教

明春書會

村樂次歌

彼是得失心意忠君
成功戰爭政治宗教

明治春秋書記會計
町村苦樂順次和歌

正步段殿

母每河濟

羽林弱

圭炎昌

師
明
既

配
細
記

粗
朝
調

仲
晴
績

旭
勉
魁

吸
峰
颯

復
復
後
後

退
淡
養

徵樹謝

御鄉唧

聖賢聲

萬意翼

2004

松石香川習字書



明明明
治治治
四四三三
十
十九
年年年
一十二
月月月
七四九六
日日日
訂訂發印
正再版
版印
行刷行刷

所 著
權
有 作

發 行 所

新撰香川習字帖 上中下各定價金廿六錢

書 者 兼 發 行 者
著 作 兼 發 行 者
發 行 所
印 刷 所
印 刷 所

東京市神田區
千葉縣千葉町

三 多

省 田

堂 屋

書 支

店 店

香 龜 能 神 三

川 井 川 熊 忠 鼎 周 藏
東京市神田區 東京市神田區 千葉縣千葉町 東京市神田區 東京市神田區
三 丁 日 三 日 三 日 三 日
部 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏 藏

